

(様式1)

平成19年度 事務事業評価表

記入年月日	平成19年4月9日	記入者		連絡先	780-1408
平成18年度部名	保健福祉部	課名	津久井福祉課	課長名	斉藤 久男
平成19年度部名	福祉部	課名	津久井福祉課	課長名	斉藤 久男
事務事業名	津久井福祉スポーツ大会				
予算上の事務事業名	津久井福祉スポーツ大会				
1 総合計画における位置づけ	施策コード		11220		
基本目標	「学びあいあたたかさのある福祉文化都市」をめざして				
政策名	第1章 安心して生活できる福祉社会をつくります				
基本施策名	第2節 いきいきとした高齢社会の創造				
施策名	第2施策 高齢者の社会参加と生きがいづくり				
2 実施根拠及び関連法令・条例・規則・要綱等					
3 個別計画の概要					
計画名	概要				
計画年次	年度～	年度			
4 事業形態の区分	啓発・広報・イベント		5 事業開始年度	平成18年度	
6 事業概要					
(1) 事業の目的(何のために行うのか、またはもたらしたい成果)				(2) 対象(誰、何)	
高齢者や障害者を中心に、幼児から小中学校、高校の児童・生徒及びボランティアなど多くの町民が集い、スポーツを楽しむことを通じて、健康管理の増進、生きがいの高揚を図るとともに、世代を超えた交流や連帯感を深め、お互いの理解を高めることにより、町民福祉の向上を図る。				高齢者及び障害者、幼児、小・中・高校生	
(3) 平成18年度事業の内容(活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容(活動)なのか。					
運営方法	福祉関係団体による福祉スポーツ大会実行委員会を組織し、企画運営を行う。				
会場	市立中の小学校校庭				
実施日	5月第2土曜日				
参加者	620人				
7 関連事業・類似事業又は他市の状況					
旧津久井町の継続事業。様々な形態で事業を実施。					
8 事業費の推移 [単位：千円]					
年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
事業費	0	0	868	1,087	1,087
一般財源	0	0	868	1,087	1,087
受益者負担金	0	0	0	0	0
その他の特定財源	0	0	0	0	0
人件費の合計	0	0	1,315	1,512	1,512
事業コスト合計	0	0	2,183	2,599	2,599
9 事業効率・・・活動単位当たりの事業効率					
事業名 (主たる事業名)	津久井福祉スポーツ大会			対象名称 と単位	参加者数(人)
年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
事業コスト(主たる事業)	0	0	2,183	2,599	2,599
対象数	0	0	620	800	800
単位あたり経費(円)	#DIV/0!	#DIV/0!	3,521	3,249	3,249
前年度比		#DIV/0!	#DIV/0!	0.92	1.00

1 0 活動指標・・・実施した内容（活動）を数値化したもの					
指標名と単位	福祉スポーツ大会の開催	指標式と指標の説明	年1回開催		
	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
実績	0.0	0.0	1.0		
目標	0.0	0.0	1.0	0.0	0.0
目標達成度（%）	#DIV/0!	#DIV/0!	100.0		
1 1 成果指標・・・もたらしたい成果の達成度を数値化したもの					
指標名と単位	参加者数の前年度比	指標式と指標の説明	本年度参加者数 / 前年度参加者数 × 100		
	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
実績	0.0	0.0	72.9		
目標	0.0	0.0	100.0	100.0	100.0
目標達成度（%）	#DIV/0!	#DIV/0!	72.9		
1 2 個別評価					
(1) 妥当性の評価 [A : 妥当である・ B : 妥当性に課題がある・ C : 妥当でない]					
A	<input type="checkbox"/>	・法令、条例により実施することが義務付けられている。			
	<input type="checkbox"/>	・法令、条例に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・公益性が高い、または必需性が高い事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 [A : 有効である・ B : 有効性を高める余地がある・ C : 有効でない]					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	・上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input type="checkbox"/>	・課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。			
(3) 効率性の評価 [A : 効率が良い・ B : 効率性を高める余地がある・ C : 効率が悪い]					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	・単位あたりの経費は適正である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・再任用や非常勤職員などを活用しても、これ以上のコスト節減の余地がない。			
	<input type="checkbox"/>	・受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力または市民協働の導入の可能性 [有・無]					
無	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方が適している。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、市民協働により推進する方が適している。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部に民間委託を導入しているが、さらに民間委託を導入しても効果が見込めない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・市で実施する方が民間委託等をするより適している。			
1 3 総合評価（一次評価）					
(1) 自動判定結果					
	[] : 良好な状態を維持する事業				
	[] : 概ね良好な状況である事業				
	[] : 見直しを行う必要がある事業				
	[] : 抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業				
(2) 事業所管課長による評価（今後の方向性）			(3) 事業所管課長の評価に関する説明		
現状維持	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実		高齢者や障害者にとって健康の増進や生きがいの高揚を図る事業として効果があり、福祉の向上を図ることができる。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			
1 4 成果向上及び効率性を高めるための方策			1 5 課題として認識されたこと		
参加者数は、天候によっても左右されるが各種団体やボランティア等様々な協力団体を増やし、高齢者や障害者がより多く参加でき、幅広い人たちとの交流の場としてスポーツ大会が運営できよう、各団体へ依頼するとともに広報など幅広く募集する。			幅広いIPR活動が必要である。		
1 6 二次評価					
(1) 局内評価会議による評価（今後の方向性）			(2) 二次評価コメント		
現状維持	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			